

## 平成 29 年度 第 2 回 伊勢市障害者施策推進協議会 議事録

開催日時	平成 29 年 10 月 26 日 (木) 午後 7 時 00 分～
開催場所	福祉健康センター 2 階 娯楽室
出席委員	宮崎 吉博 会長、市川 知律 副会長、山路 克文 委員、杉田 宏 委員、齋藤 茂 委員 小林 えり子 委員、松崎 まみ 委員、鈴木 弘之 委員、三宅 浩 委員、溝井 力 委員 金子 直由 委員、前田 泉 委員、伊豆 敏 委員、中川 肇 委員、新村 幸治 委員 西 勝美 委員、中川 悦子 委員、竹田 秀成 委員、藤田 典子 委員
事務局	高齢障がい福祉課長 高齢・障がい福祉課障がい福祉係長、主査 こども発達支援室長 学校教育課副参事 1 名
傍聴者	7 名

### 1 あいさつ

先週、台風 21 号により市内に大きな被害があった。今週末も台風が来る見込である。自然災害時の障がい者の問題は切迫している。阪神大震災時も一番障がい者の状況を把握していたのは、福祉現場や学校であった。今後いろいろな災害に備え、皆さんからいろいろなご意見をいただき、施策に反映していければと思う。

### 2 第 4 期障害福祉計画・障害者計画実績について

○事務局より、第 4 期障害福祉計画・障害者計画実績について説明。

#### 【各委員主な意見】

- ・「真に施設入所が必要な人で増えた」となっており、利用する必要がある人が利用し、出れる人は出たということから、目標が達成できなかったというだけではなく、活性化もしているのでは、もう少し良い評価であってもいいのでは。
- ・重点取り組みがあったと思うが、その評価も入れたほうがいいと思う。  
⇒追加する方向で検討する。
- ・「アセスメントをしっかりとるように」と昨年意見が出ていたと思う。「新規の入所者に対しては、しっかりとアセスメントをして、施設入所しか方法がないのか検討するように」というような意見を入れるべき。  
⇒追加する。
- ・施設では地域移行への努力をしていることは十分理解している。しかし、地域で安心して生活できる環境が大きな課題と思う。状況を細やかに把握して欲しい。また、要因も把握して欲しい。  
⇒更に取り組みを強化するとともに、状況把握をしていく。
- ・協議会の評価はどこまで具体的に意見すればいいのか。アイデア等を出すことや議論になると協議に時間がかかると思う。
- ・「具体的にすべき」という意見を入れるべきでは。  
⇒追加する。

- ・「地域で生活できる可能性がまだ不十分」という部分については、何が不十分と考えているのか。  
⇒安心して地域で生活していくには、地域生活支援拠点の整備が必要であるが、ここがまだ未整備であり、ここにつながっていくと考えている。
- ・一般就労について、就職した後の離職率はどうなっているのか。  
⇒改めて報告する。

### 3 第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画について

○事務局より、第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画（案）について説明。

#### 【各委員主な意見】

- ・地域福祉計画との関係性はどうか。  
⇒地域福祉計画の中の分野別計画の位置づけである。誤解を招く記載であるのなら、修正を検討したい。
- ・数値目標は年々増加になっているが、増えることがいいのか、減らすことがいいのか。  
⇒増えるからいい、減らしたらいいとは考えていない。サービスの充実がまだ不十分である中で、少しずつサービスが充実してきている。また、サービスを必要としている人も増えてきており、今後も増加の見込みである。
- ・現状では、サービスが不足していると思うので、増えていくことは評価につながると思う。
- ・重点課題と詳細内容はリンクしているのか。  
⇒リンクしていると考えますが、再度確認する。
- ・障がい児支援の記載について、教育との連携に苦勞している子が多い。学校との考え方とずれがある場合がある。連携・協力・働きかけはどう考えているのか。  
⇒学校と福祉とのつながりについては、発達支援室ができ、つながりができてきていると感じているが、さらに体制整備の強化をしていきたい。今年度から1年生訪問を開始し、連携もしている。計画への記載については、再度記載方法を検討する。
- ・障がい者の一生を考えたとき、障がい者が老いるときの記載が少ないように感じる。共生型サービスについて触れなくていいのか。  
⇒今回の障害福祉計画は数値目標を中心とした計画となっている。大きな部分・全体的な部分については、障害者計画により進めている。
- ・共生型サービスについては、まだ国からはっきり出していないので、数値として表すのは難しい状況ではないか。自立支援部会でも明確に載せるのは難しかった。
- ・高齢者の介護保険の計画には、共生型サービスと言うのが文言として入っていた。老人の計画と連携して判断してもらえばいいと思う。  
⇒確認をさせてもらおう。
- ・数値は大事だが数値だけではない。質が大事。特に相談支援の質の確保をどう図っていくかが大事。
- ・パーソナルカルテについて、活用を図って欲しい。活用促進だけでなく、普及も入れて欲しい。  
⇒そうしたい。

#### 4 部会報告

○自立支援部会・手話言語等コミュニケーション部会より活動報告を行う。

##### 【各委員主な意見】

・今後もよろしくお願ひしたい。

#### 5 障がい者虐待報告

○事務局より、障がい者虐待報告を行う。

##### 【各委員主な意見】

・H29 福祉施設従事者等の虐待認定が0件だが、答えられる範囲でどうなっているのか答えて欲しい。組織的に隠蔽する等が問題になっているので。また訴訟に発展しているケースはないのか

⇒H29 の認定については、現在事実確認中であるためであり、調査継続中で認定には至っていない。訴訟については、伊勢市ではない。

・施設従事者は任意調査と思うが、難しければ調査権・監査権をもった機関に同行をお願いして欲しい。権限行使を視野に入れて県に協力をお願いして欲しい。

・虐待の判断事案だけでなく、不適切な事案があれば、指定権限の県へ報告して欲しい。

⇒ご意見どおり対応していきたい。

#### 6 障がい者差別に関する相談件数報告

○事務局より、障がい者差別に関する相談件数報告を行う。

##### 【各委員主な意見】

・マイナンバーの案件については、現在動いているのか。

⇒担当部署に確認したが、現在、総務省に確認中とのことである。

・職員の意識改革も必要と思う。

#### 7 その他

○事務局より二見デイサービスセンター進捗状況報告。

二見デイについては、無償譲渡し、短期入所と生活介護の施設を10月に開所してもらう予定であったが、延期となり、11月1日に開設となる。

○事務局より障がい者サポーター制度について報告。

12月10日に障がい者サポーター研修会を予定している。松野明美さんに来てもらい講演会をする予定。各委員の所属でも周知をお願いしたい。

##### 【各委員主な意見】

・今回の台風で被害がGHにもあったが、要援護者にGHの人も登録しているのか。

⇒登録は手挙げ方式となっている。機会を通じて周知はしている。